



PDA 即興型英語ディベート中四国交流大会 2022

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年10月16日（日）9：30～13：30

会場：オンライン（Zoom）

参加校：3校、4チーム（徳島市立高等学校、城ノ内高等学校、相模原高等学校）

参加者：生徒14名、教員3名

スタッフ：九州大学、PDA認定教育ジャッジ



一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事中川智皓より、「挑戦するということは難しいことですが、一度挑戦をすると、次に新たな挑戦をする際のハードルが下がります。今日の交流大会の中で、何か1つ挑戦することを具体的に決めて、ぜひ皆さん頑張ってください。」と動画にて挨拶があり、本交流大会が開会しました。

続けて、参加校の紹介、ジャッジの紹介、ルールの確認を行い、POI(Point of Information)の練習を参加者全員で行いました。



PDA 中川代表による挨拶

POIの練習

POIの練習が終わると、早速第1ラウンドの論題「Ambulance services should be charged.（救急車の利用を有料化すべきである。）」が発表されました。肯定側からは、有料化することで、不要な救急車コールを減らし、本当に救急車が必要な人だけが利用されるようになる点や、医療設備や技術の向上に必要な予算原資にもなり得ることがスピーチされました。対する否定側は、有料化せずとも、不適切な救急車利用に対して罰則を導入すれば問題は解決する、と即座に反論を行ったうえで、経済的に貧しい人たちだけが救急

車の利用をためらうようになる弊害について、政府の役割にも触れながら述べました。

早速 POI も活発に交わされ、相手からの鋭い指摘に対しても、自分たちの準備した分析を再度強調して応答し、白熱したラウンドとなりました。

ラウンド後は、対戦相手と画面越しに握手をします。ジャッジコメントを待つ間、生徒たちは、普段どのようにディベート練習を行っているのか、お互いに授業や部活動での取り組みを和気あいあいと共有し、笑顔がこぼれます。その後、PDA ジャッジから (1) 勝敗 (2) 勝敗の理由 (3) 1人1人への個人コメント (良かった点と次の第2ラウンドにいかすことのできる改善点など) が述べられました。ジャッジからのアドバイスを聞きながら真剣に聞き、メモをとる姿が印象的です。



ディベート後、対戦相手に感謝の気持ちを込めてエア握手

続く第2ラウンドの論題は、「**Animal experiment should be abolished. (動物実験は廃止すべきである。)**」でした。肯定側は、化粧品や医薬品開発のための動物実験がいかに動物の権利を侵害しているかについて、動物の痛みや実験の残酷性などの描写とともに訴え、否定側は、動物の苦しみに配慮した実験であれば問題がないとし、動物実験がいかに人間の医療向上に不可欠であることを強く主張しました。倫理的な問題の提起や、iPS 細胞などの再生医療が実用化されていけば動物実験が不要になることも言及され、白熱した議論となりました。また、第1ラウンドのジャッジコメントを早速スピーチの内容や表現にいかす生徒ばかりで、その成長スピードに驚かされます。

短い休憩をはさみ、ジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題「**Children playing games does more harm than good to their development. (子どもがゲームをすることは、子どもの発達にとって利益よりも害をもたらす。)**」が発表され、聴衆全員がジャッジであることも告げられました。肯定側は、ゲ

ームの中毒性を示して、子どもの学習面、生活面でのマイナスの影響を主張し、否定側は、学習ゲームの効果や時間管理能力の向上に着目して、子どもの学習面、生活面でのプラスの影響を説明しました。短期的な影響から長期的な影響まで言及され、POI も活発に飛び交います。対戦相手や聴衆に対して敬意を持ってスピーチができており、お互いに議論を深めようとする真摯な姿勢が見られました。

ディベートをジャッジとして見学した生徒たちと教員の挙手投票により、肯定側の勝利となりました。



エキシビションディベートの様子



お互いの健闘をたたえてエアークラップを交わします

閉会式では、表彰が行われ、個人賞で表彰を受けた生徒より、「とても楽しかった！もっと練習して、もっとディベートができるようになりたいと思いました」、「ディベートを始めるきっかけになった PDA の交流大会に参加できて、嬉しかった。ディベートの楽しさを、この交流大会に参加したことでまた再認識できました」、「他校の方ともディベートや交流ができて、また仲間ともチームワークよく楽しめました」などと感想が述べられました。また会いましょう！という生徒たちと教員の皆さんの笑顔で中四国交流大会 2022 は閉会しました。

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・ PM _____さん 城ノ内高校 B
- ・ LO _____さん 相模原高校
- ・ MG _____さん 徳島市立高校
- ・ MO _____さん 城ノ内高校 A
- ・ LOR _____さん 徳島市立高校
- ・ PMR _____さん 城ノ内高校 B



エキシビジョンディベータ賞

〈チーム賞〉

- ・ 1位 城ノ内高校 B
- ・ 2位 城ノ内高校 A
- ・ 3位 徳島市立高校



1位 城ノ内 B

2位 城ノ内 B



3位 徳島市立

〈ベストディベーター賞〉

- _____さん (徳島市立)
- _____さん (城ノ内 A)
- _____さん (城ノ内 B)
- _____さん (相模原)
- _____さん (城ノ内 A)
- _____さん (城ノ内 B)
- _____さん (相模原)
- _____さん (徳島市立)



ベストディベーター賞

〈ベスト POI 賞〉

- _____さん (城ノ内 A) ★
- _____さん (城ノ内 B) ★
- _____さん (城ノ内 B) ★
- _____さん (徳島市立)
- _____さん (城ノ内 B)
- _____さん (相模原)
- _____さん (相模原)

★ : 2 回受賞



ベスト POI 賞

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 普段は関わることのできない他校の方と交流でき、また他のチームの卓越したスピーチ内容にとっても感銘を受けることができ、有意義でとても貴重な体験でした。（徳島市立）
- さまざまな知見を得ることができ、有意義な時間を過ごすことができました。また次も参加したいです。（城ノ内）
- 自分では出せない意見がたくさんあり、参考になった。議論の内容や英語表現などで勉強になったうえ、チーム内での意見も活発に出て、とても楽しかった。（相模原）
- 練習の成果を発揮できたから、とても楽しかった。授業でも即興型英語ディベート是非やってみたい。次回はよりたくさん的高校が参加することを祈っています。（徳島市立）
- 交流できてとても楽しかった。全国大会に参加したいです！（城ノ内）
- 英語力を高められた。とても楽しかったです、また参加したいです。丁寧にジャッジしていただきありがとうございました！とても分かりやすかったです。（相模原）
- 生徒の成長が見えて感動しました。素晴らしいジャッジコメントや評価をいただき、生徒ともども感謝しています。このような素晴らしい機会を生徒たちに与えてくださり、ありがとうございました！（教員）
- このような機会をつくっていただき感謝しています。今日をきっかけにして、中四国の先生方にもできる限り声掛けをして、PDA の授業導入などをすすめてみます。本当にありがとうございました。（教員）